



上尾市困難女性支援ネットワーク

講演会のご案内

予約不要・
入場無料

～DV・性加害はなぜ起こるのか～

(旧：DV防止セミナー)

日時 令和6年11月19日(火) 午後1時15分～

会場 あげお富士住建ホール(上尾市文化センター)小ホール

第1部 「上尾市困難女性支援ネットワークについて」
上尾市男女共同参画推進センター

第2部

※講演タイトルに変更が生じたのでご承知おきください。

【記念講演】「生きづらいのは、あなたのせいじゃない。」
午後1時30分～ ～この社会の持つ”偏り”を、性加害者の更生過程から考える」



講演会終了後アーカイブ配信決定！！

さいとう あきよし

講師／齊藤 章佳氏

所属：西川口榎本クリニック副院長
(精神保健福祉士／社会福祉士)

1979年滋賀県生まれ。大卒後、アジア最大規模といわれる依存症施設である榎本クリニックにソーシャルワーカーとして、約20年に渡りアルコール依存症を中心にギャンブル・薬物・摂食障害・性犯罪・児童虐待・DV・クレプトマニアなど様々なアディクション問題に携わる。その後、2024年10月から現職。

専門は加害者臨床で現在まで3000名以上の性犯罪者の治療に関わる。また、都内更生保護施設では長年「酒害・薬害教育プログラム」の講師をつとめている。小中学校では薬物乱用防止教育をはじめ、大学でも早期の依存症教育に積極的に取り組んでおり、全国での講演も含めその活動は幅広くマスコミでも度々取り上げられている。東京都痴漢被害実態把握調査委員、一般社団法人痴漢抑止活動センターアドバイザー。 ※裏面で著書の紹介をしています。

【基調講演】「警察における女性被害者支援の実際と課題」

午後3時15分～

講師／埼玉県上尾警察署 生活安全課



【発行】市民生活部人権男女共同参画課／男女共同参画推進センター
お問い合わせ：048-778-5111



<齊藤章佳氏の主な著書>

「性依存症の治療」金剛出版、2014（共著）
「性依存症のリアル」金剛出版、2015（共著）
「男が痴漢になる理由」イースト・プレス、2017
「万引き依存症」イースト・プレス、2018
「小児性愛という病ーそれは、愛ではない〜」ブックマン社、2019
「しくじらない飲み方ー酒に逃げずに生きるには」集英社、2020
「セックス依存症」幻冬舎、2020
「行為依存と刑事弁護」日本加除出版、2021（共著）
「盗撮をやめられない男たち」扶桑社、2021
「行為プロセス依存症の診断・治療と再発防止プログラム作成の手引き」診断と治療社、2022（共著）
「50歳からの性教育」河出書房新社、2023（共著）
「男尊女卑依存症社会」亜紀書房、2023
「つながりを、取り戻す。」ブックマン社、2023（共著）
監修に漫画「セックス依存症になりました。」（津島隆太作、集英社）

記念講演

「生きづらいのは、あなたのせいじゃない。～この社会の持つ“偏り”を、性加害者の更生過程から考える」の開催にあたって

本講演は、上尾市困難女性支援ネットワークの協力機関「認定NPO法人彩の子ネットワーク」のみなさんと共同で企画しました。この講演を通じて、私たちが抱える「生きづらさ」の根底には何があるのか、考えてみませんか？

いろいろな世代の女性の貧困や生きづらさが、近年、取り上げられるようになり、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（女性支援新法）が令和6年4月1日に施行されました。

“困難な問題”の中身は様々ですが、困難に陥る原因は、その人そのものにあるものではありません。就労のしづらさ、未婚や離婚での生活の立てづらさ、子育ての責任が女性ばかりに置かれがちな現状等、私たちが生きている社会の構造そのものが、女性を生きづらくさせています。また、女性が生きづらい社会は、男性やどんな性にとっても生きやすい社会とは言えません。

日本は、まだまだ、男性が中心で回っている社会です。未婚でも、結婚したとしても、女性が1人で主体で生きることが当たり前でできなくては、この問題はなくなりません。

今回は、性加害者の更生プログラムに長年携わってきた、齊藤章佳先生を講師にお招きし、この社会の偏りについて考えます。性加害をするのは、特別な人ではなく、ごく普通に社会生活を送っている人だそうです。性加害男性の思考（パターン）や、更生過程を知ることにより、この社会が持つ構造を捉えなおしたいと思います。

女性が、現在、どのような状況に置かれているのか、そこを抜け出し、自分自身を大切に生きるにはどう考え、どう行動できるといいのか、考えていきたいと思います。

認定NPO法人彩の子ネットワーク